

## 平成27年度 地域貢献活動支援報告書

所属 教育学部  
氏名 吉本敏子

活動 テーマ	津市中心市街地の活性化（カフェの開店）
実施 期間	平成 27年 7月 1日 ～ 平成28年 2月 29日
活動 内容	<p><b>(1) 具体的な活動実施内容</b></p> <p>津市の中心市街地に地域と連携して1日だけのカフェを開き、中心市街地の活性化に貢献しようという活動である。</p> <p>カフェ開店の当日は、ランチとデザートの販売をするだけでなく、抱合せ企画として、大門大通り商店街を回って商店街の様子を知っていただくためのスタンプラリー、三重大学教育学部附属特別支援学校高等部の陶芸作品と紙工作品の販売、大門大通り商店街のお菓子屋の紹介を兼ねた菓子の販売を行った。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div> <p><b>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</b></p> <p>大学間連携の一環として、平成22年度から毎年12月に津市大門大通り商店街において、学生による1日限定の店『Café HONOBUONO』（カフェ ほのぼ～の）を開店してきた。三重大学教育学部家政教育コースの学生、三重短期大学生生活科学科食物栄養学専攻の学生、(株)まちづくり津夢時風、津市商工観光部、大門大通り商店街が協力し、今年度で6回目のカフェの開店となる。この活動は地域に定着しつつあり、1日限定の店ではあるが、カフェの名前を知る方も多く、毎年カフェの開店を楽しみに来てくださるお客様もいる。</p> <p><b>(3) 共同実施者との連携状況</b></p> <p>平成27年度は、三重大学教育学部家政教育コースの有志の2年生13名（担当教員：吉本敏子）、三重短期大学生生活科学科食物栄養学専攻の有志の2年生8名（担当教員：駒田亜衣准教授）がメンバーとなり、(株)まちづくり津夢時風、津市商工観光部とで協議を進め、大門大通り商店街の協力を得て実施した。そして、産学官がひとつのものを作り上げていく中で連携し、それぞれが目的を果たすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 三重大学教育学部家政教育コース             <p>店舗の準備、広報・宣伝活動、抱き合わせ企画の準備、フロアでの接客を通して、消費者や事業者、アントレプレナーシップ、街づくりなどの視点から、消費生活に関する授業で学んだことの実践</p> </li> <li>◇ 三重短期大学生生活科学科食物栄養学専攻             <p>栄養面や地産地消にこだわった献立、盛り付け、安全で衛生的な提供方法など、これまで講義や実習で学んだ事を実践することによる自身のスキルアップ</p> </li> <li>◇ (株)まちづくり津夢時風・津市商工観光部             <p>中心市街地の活性化、幅広い世代の中心市街地への誘客、にぎわいの創出、商業の振興</p> </li> <li>◇ 大門大通り商店街             <p>商店街の活性化、にぎわいの創出、来街者の促進、商業の振興</p> </li> </ul>



#### (4) 大学の教育・研究成果のかかわり

三重大大学の学生は、昨年度までは消費生活科学コースの2年生が「消費生活科学演習Ⅰ」の授業の中で取り組んできたが、消費生活科学コースが廃止になり授業がなくなったことから、今年度は家政教育コースの2年生有志(2年生全員が参加)によるカフェの開店となった。この活動の中で「消費者教育論」等の授業で学んだことが生かされていると考える。

#### (5) イベント等開催実績(名称, 実施場所, 参加人数等)

『Café HONOBUONO』(カフェ ほのぼ～の)の開店

日時:平成27年12月20日(日)11:00~16:00

場所:津市大門大通り商店街「街の駅だいもん」

参加人数:約200名

#### (6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

この活動は、学生によるポスターやチラシの作成・配布や Twitter による宣伝に加えて、中日新聞、毎日新聞、三重タイムス、三重ふるさと新聞、FM 三重にて取り上げていただき、当日はこれらの広報活動の成果もあり、100食限定のランチは開店から1時間半ほどで完売、また80食のデザートも完売した。活動に参加した学生は、カフェの運営について消費者や事業者の視点から学ぶとともに、中心市街地の活性化について考える機会を得た。事後の反省会では、カフェで提供する食べ物の価格の設定、人通りの少ない商店街への集客のための広報・宣伝活動、接客の態度などについて、お客様の反応も含めながら多くの反省と気づきを得ることができた。地元商店街、津市、カフェの客からは今後も継続してカフェを開いてほしいとの強い要望がある。

またこの活動については平成28年2月12日に三重大大学で行われた「アカデミックフェア2016」において発表をした。



# 地域連携カフェ『Café HONOBUONO』の運営

教育学部家政教育コース2年 大東 文 ほか



## 【概要】

大学間連携の一環として、学生による1日限定の『Café HONOBUONO』の出店を行った。本取り組みは平成22年度にはじまり、今年度で6回目となった。

## 【メンバー】

三重大学教育学部家政教育コース 13名  
三重短期大学生生活学科食物栄養学専攻 8名

## 【協力】

(株)まちづくり津夢時風 津市大門大通り商店街  
津市商工観光部

【日時】 平成27年12月20日(日) 11:00～16:00

【場所】 津市大門大通り商店街「街の駅だいもん」

## 【内容】

- (1) ランチ、カフェメニューの提供
- (2) 抱き合わせ企画
  1. 大門大通り商店街を中心に回るスタンプラリー
  2. 附属特別支援学校の生徒作品の販売
  3. 大門大通り商店街の店舗の菓子の販売



地元の方から、大門に初めて訪れた方まで、幅広い世代の方にお越しいただいた。

新聞やラジオでの広報活動を見て訪れた方から、通りすがりで立ち寄ってくださった方もいた。

「年に一度ではもったいない！」という声が多く、地域連携カフェへの今後の期待の大きさを感じた。

## 【取り組みを振り返って】

当日は広報活動の成果もあり、100食限定のランチは開店から1時間半ほどで完売。カフェセットも予定の80食を完売した。参加者は、中心市街地の活性化について考える機会となった。

昨年度までは授業やゼミの一環として開催してきたカフェも今年度は有志による開催となった。すでに地域で定着しつつあるこの活動が今後も続いていくことを期待したい。



# 三重短大と三重大学生が協働(コラボ) ランチとデザートを販売



接客、三重短大の学生8人は食事づくりを担当した。大学間連携と中心市街地の活性化を図るのが狙い。

ランチセットとカフェセットの2種類。ランチセットはワンコインの500円、カフェセットはケーキとクッキー、ドリンク付きで300円。友人と来店した女性には「ボリュームたっぷり。おいしいです」とにこやかに話していた。

おいしいランチとかわいデザートでクリスマス気分を味わつてーと、三重短大食物栄養学専攻と三重大教育学部家政教育コースの学生たちが20日(日)、1日限定の「CafeHONO(ほの)BUNONO(ぼの)」を津市

大門の街の駅「大門」で開いた。開店前から行列ができ、予定した100食のランチはたちまち売り切れた。平成22年から津市大門商店街で毎年12月に開催しており、6回目。三重大学の学生13人が宣伝・

指導に当たった宮本破子・教育学部教授は「昨年までは授業の環でしたが、今年は学生たちのボランティア活動です。不安もありましたが、よく頑張っていると思います」と話した。